



平成27年度第2回(通算159回) 技術情報交換会のご案内

平成27年度第2回技術情報交換会を下記により開催致します。今回は、CFRP製品を取り上げました。衛星、スポーツ、レーシングカーなど最も古くからCFRPが適用されて来た分野を取り上げ、開発と事業化にあたり、設計や成形、量産化で払われたご苦勞を語って頂きます。樹脂、中間素材、成形技術、加工機械と全ての分野で日進月歩の革新が進み、急激な発展期を迎える機運はありますが、複合材料を事業化する勘所は変わらないように思います。

必ず皆様のご参考になるかと思えます。多数の会員のご参加をお願い致します。

記

1. 日 時: 平成27年10月27日(火) 13:00～19:30
2. 会 場: 東京大学工学部2号館1階 213講義室
会場までのアクセスについては次ページの案内地図をご参照下さい。
3. 参加費: 正会員・賛助会員:8,000 円、学生会員:4,000 円、非会員:11,000 円
参加費は『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普)1276101 先端材料技術協会』
に振込料自己負担でお振込ください。当日会場受付でもお受け致します。
4. 参加申込: 別添の申込用紙に所要事項をご記入の上、メールあるいは FAX にて協会事務局
にお送り下さい。

定員は 80 名ですので、ご確認は下記宛にご連絡下さい。

Tel: 03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp

宛先:先端材料技術協会事務局



Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル4F (株)ガリレオ内 先端材料技術協会
Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp URL:www.sampejapan.gr.jp

【プログラム】

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:10 「衛星構造に使用される複合材料 —軽量・高剛性から高精度構造へ—」

宇宙航空研究開発機構 研究開発部門第二研究ユニット 主任研究員 水谷 忠均 様
従来、人工衛星の構造設計は剛性設計と言われ、ロケットの打上環境に対して軽量かつ剛性の高い構造を実現させることが重要であった。ロケットという輸送手段を使う限りこの重要性は普遍的なものではあるが、特に近年の地球観測および天文観測衛星では、軌道上における性能、すなわち観測性能向上の観点において構造設計が重要視されている。本講演では、この両方の観点から、衛星構造における複合材料の活用事例を紹介する。

14:10～15:10 「スポーツ用途における CFRP 製品の開発」

ミズノ株式会社 研究開発部複合材料研究開発課 松井 泰志 様

近年、炭素繊維を基調とした複合材料業界は、航空・宇宙用途ならびに自動車・産業用途における用途展開から益々の発展を遂げ続けている。その牽引役とも言えるスポーツ用途は1960年代末から複合材料での商品開発を進め、80年代から90年代に掛けては炭素繊維メーカーとの共同開発により成長を遂げ、複合材料の基盤を築いた。その歴史を振り返るとともに、近年の商品開発事例について紹介する。

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20 「CFRP 部品製造の事例」

東京R&Dコンポジット工業株式会社 取締役事業本部長 竹田 清人 様

CFRP 部品製造に係わる開発を始めて30年以上になる。弊社は、その殆どの歳月において競技車両用 CFRP 部品の製造に携わって来たが、全く内容の違う板厚のある大型構造体の製作を受けるに当たり、客先との仕様調整から製品設計、解析、治具検討、試作、製造に至る一貫した工程の中で、失敗も含め弊社の取った方案をご紹介すると共に、現在取り組んでいる事業内容の一部をご案内させて頂く。

16:20～17:20 「CFRTP—熱可塑樹脂複合材料の成形技術」

茨木工業茨木工業株式会社 常務取締役 豊留 永久 様

「複合材料に夢をのせて」をテーマに、製品先向けは多岐に渡り、多くの分野・用途のユーザーと製品設計から参画し、FRPの機能・特性を生かした製品製造を行っている。CFRPについても熱可塑成形用プレスを用いて量産技術の開発を行い、長繊維のペレット成形やハイブリッド(連続繊維+不連続繊維)の一発成形技術を開発した。表層は連続繊維の意匠性に富んだデザインを有し、内面は不連続繊維によるリブ/ボスなどの複雑形状を持つ、高強度・軽量のCFRTPを提供する。

17:30～19:30 懇親会 東京大学工学部2号館2階 展示室

講師、参加者相互の情報交換の場としてご活用下さい。



Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル4F (株)ガリレオ内 先端材料技術協会
Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp URL:www.sampejapan.gr.jp

会場案内



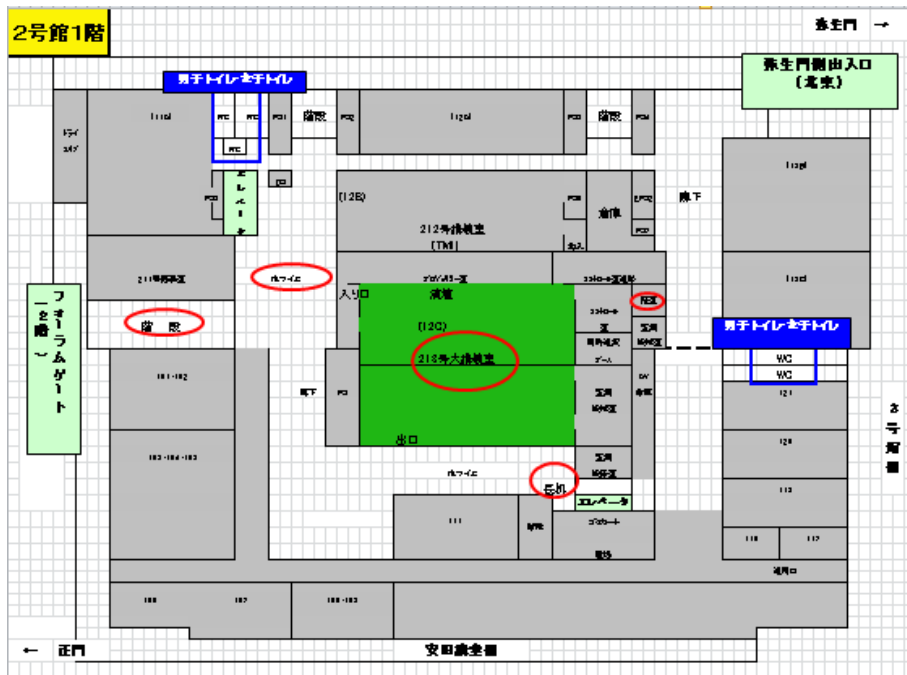
〒113-8654 文京区本郷7-3-1(事務局)
TEL 03-3812-2111(代表)

本郷キャンパス 工学部2号館

[本郷アクセスマップ](#)



工学部2号館1階平面図



安田講堂側の正面玄関から入られた場合は一度「フォーラム」と呼ばれるオープンスペース（サブウェイがある所）に出て、そこから階段で1階に下りてください。



技術情報交換会参加申込書

記入日:平成 年 月 日

➤ 平成27年度第2回技術情報交換会に参加します。

お名前: _____

ご所属: _____

E-mail: _____

電話: _____

Fax: _____

領収書発行の都合上、下記の該当項目につき必ずチェック☑をお願いします。

(該当欄に、☑を上書きしてください)

(1) 正会員・賛助会員 学生会員、 非会員

会員番号: _____ 会員番号を必ずご記入下さい。

(2) 銀行振込

振込予定日をご記入下さい。 _____

(ア)銀行振込に関し請求書が必要な方は、以下の項目を記入の上、E-MAIL(或いは FAX)にて当協会宛お送りください。

① 請求書送付要

住所 〒 _____

先端材料技術協会宛

E-mail: g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp までお送り下さい。

(Fax:03-5981-9852)